

2006年アーノルド・フルクテンバウム博士セミナー

イスラエル学

-神学の『失われた環(missing link)』を求めて-

講師：アーノルド・フルクテンバウム博士

By Dr.Arnold G. Fruchtenbaum

通訳：中川 健一

2006年
ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

(無断複製を禁じます)

イスラエル学 目次

- I. 過去のイスラエル p. 2
 - A. イスラエルの選び
 - B. 無条件契約
 - C. モーセ契約とモーセの律法
 - D. レムナント（イスラエルの残れる者）

- II. 現在のイスラエル p. 6
 - A. 神の国のプログラム
 - B. イエスのメシア性の拒否と、その結果と成り行き
 - C. 無条件契約
 - D. モーセ契約とモーセの律法
 - E. イスラエルと教会
 - F. 今のイスラエル
 - G. ロマ 9:1 - 11:24、イスラエルの残れる者、オリーブの木
 - H. ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジュー
 - I. ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジューによる新約聖書の書

- III. 将来のイスラエル p. 14
 - A. イスラエルと教会時代
 - B. イスラエルと患難時代
 - C. イスラエルと再臨
 - D. イスラエルとメシア的王国
 - E. イスラエルと永遠の秩序

- IV. その他の関連事項 p. 19
 - A. イスラエルを象徴するもの
 - B. 反ユダヤ主義
 - C. イスラエルと組織神学

イスラエル学

I. 過去のイスラエル

A. イスラエルの選び

1. イスラエルの選びの事実

2. イスラエルが選ばれた理由と目的

B. 無条件契約

1. アブラハム契約
 - (a) 聖書箇所

 - (b) 契約の条項

 - (c) 契約の三つの側面

 - (d) 契約の再確認

 - (e) 契約の継続性

 - (f) 契約のしるし

2. 土地の契約（パレスチナ契約）

(a) 聖書箇所

(b) 条項

(c) 重要性

(d) 再確認

(e) 現在の状態

3. ダビデ契約

(a) 聖書箇所

(b) 条項

(c) 重要性

(d) 再確認

(e) 現在の状態

4. 新しい契約

(a) 聖書箇所

(b) 追認

(c) 条項

(d) 重要性

(e) 現在の状態

C. モーセ契約とモーセの律法

1. モーセ契約

(a) 聖書箇所

(b) 当事者

(c) 署名調印

(d) 中心条項

(e) 鍵になる要素

(f) 重要性

(g) しるし

2. モーセの律法

(a) 律法の目的

(b) 割礼

(c) 安息日

D. レムナント (イスラエルの残れる者)

II. 現在のイスラエル

A. 神の国のプログラム

1. 普遍的な王国か永遠の王国か
2. 霊的な王国
3. 神政政治の王国
4. メシア的王国か千年王国か
5. 奥義としての王国

B. イエスのメシア性の拒否と、その結果と成り行き

1. マタイ 12:22-45
2. ヨハネ 11:1-57
3. ルカ 19:41-44
4. マタイ 23:1-36

5. ヨナの第2のしるし

6. 拒否の結果と成り行き

C. 無条件契約

1. アブラハム契約

2. 土地の契約

3. ダビデ契約

4. 新しい契約

5. 教会と無条件契約の関係

6. 異邦人の責務

7. 異邦人の救いの目的

D. モーセ契約とモーセの律法

1. モーセの律法の一体性

2. モーセの律法は無効になった

3. キリストの律法

4. 自由の原則

5. 安息日
 - (a) 安息日は創造の際に定められた規定か？

 - (b) 安息日の永続性

 - (c) モーセの律法は無効になった

 - (d) 祭儀法、公民法、道徳法の区別

 - (e) 安息日は、道徳法か祭儀法か？

 - (f) まとめと結論

(g) 新約聖書における安息日

(1) 福音書における安息日

(2) 使徒の働きにおける安息日

(3) パウロ書簡における安息日

(4) ヘブル人への手紙における安息日

(5) まとめと結論

(h) 日曜日

E. イスラエルと教会

1. イスラエルと教会は別のものであることを示す証拠
2. 新約聖書における「イスラエル」という用語の使用法
3. ガラテヤ 6:16の「神のイスラエル」

4. メシアニック・ジューとは：2つの誤った理解

(a) 異邦人クリスチャンは霊的ユダヤ人であるという議論

(1) 霊的という言葉の意味

(2) 引用聖句

(b) ユダヤ人と異邦人の区別はないという議論

(1) 引用聖句

(2) 両者は別のものであるという証拠

(c) 結論

F. 今のイスラエル

G. ロマ 9:1 - 11:24、イスラエルの残れる者、オリーブの木

1. I ペテロ 2:1-10

2. ロマ 9:1 - 11:24

(a) はじめに

(1) ロマ書の中で 9-11章が占める位置

(2) 3つの質問

(3) ロマ 3:1の釈義

(b) イスラエルの拒否の神学 - 9:1-29

(1) パウロの悲しみとイスラエルの特権 - 9:1-5

(2) 聖書の歴史から見たイスラエルの拒否 - 9:6-13

(3) 聖書の原則から見たイスラエルの拒否 - 9:14-29

(c) イスラエルの拒否の解説 - 9:30 - 10:21

(1) 民のつまずき - 9:30-33

(2) 救いの方法についてのイスラエルの無知 - 10:1-11

(3) 救いが普遍的なものであることについてのイスラエルの無知 - 10:12-13

(4) 福音を世界に伝えることについてのイスラエルの無知 - 10:14-21

(d) イスラエルの拒否の中にある慰め - 11:1-24

(1) イスラエルの拒否は決定的なものではない - 11:1-10

(2) イスラエルのつまずきの目的 - 11:11-15

(3) オリーブの木 - 11:16-24

H. ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジュー

1. 定義

(a) ユダヤ人とは: ユダヤ人とは誰か?

(b) 異邦人: 異邦人とは誰か?

(c) キリスト教:クリスチャンとは誰か？

(d) ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジュー: ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジューとは誰か？

2. ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジューの特殊性

(a) アブラハム契約

(b) レムナントの教理

(c) オリーブの木の教理

(d) 神のイスラエルの教理

(e) 結論

3. ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジューの信仰表現

I. ヘブル人クリスチャン/メシアニック・ジューによる新約聖書の書

III. 将来のイスラエル

A. イスラエルと教会時代

B. イスラエルと患難時代

1. 患難の目的
2. イスラエルと患難時代の始まり
3. 患難時代におけるイスラエル
 - (a) ヤコブの苦しみの時
 - (b) 概括的な表現
 - (c) 「主の日」に関する聖書箇所
 - (d) 世界に蔓延する反ユダヤ主義とユダヤ人の迫害
 - (e) イスラエルとサタン
 - (f) 最終的な結末

(g) イスラエルとミカエル

(h) ユダヤ人の4つのグループ

(i) 逃れの町

4. レムナント（イスラエルの残りの者）

(a) 患難時代のレムナント

(b) 忠実なレムナント

(1) レムナントに関する事実

(2) レムナントの保護

(3) レムナントに供給されるもの

C. イスラエルと再臨

1. キリストの再臨の前提

2. イスラエルの民族的救いとロマ 11:25-36

(a) イスラエルの民族的罪の告白

(b) ロマ 11:25-36

(c) メシアの再臨を求める祈り

3. レムナント（イスラエルの残りの者）

4. 異邦人の裁き

5. 旧約聖書の聖徒たちの復活

D. イスラエルとメシア的王国

1. メシア的王国を信じる理由

2. イスラエルの最終的な回復に関する 4つの側面

(a) イスラエルの新生

(1) 土台: 新約

(2) 預言の経緯

- (b) イスラエルの帰還
 - (1) 土台: 土地の契約 (パレスチナ契約)

- (2) 預言の経緯

- (c) 土地の所有
 - (1) 土台: アブラハム契約

- (2) 預言の経緯

- (d) ダビデの王座の回復
 - (1) 土台: ダビデ契約

- (2) 預言の経緯

3. イスラエルの最終的な回復に関するその他の要素

- (a) 国としての再統一
- (b) 異邦人の注目の的となる
- (c) 異邦人の上に立つイスラエル
- (d) 正義、聖、平和、安全、喜び

4. 主の家が建つ千年王国の山
5. 千年王国の神殿
6. 千年王国の祭司と犠牲の捧げもの
7. 千年王国の川
8. 千年王国のイスラエル
9. 千年王国のエルサレム
10. レムナント（イスラエルの残れる者）

E. イスラエルと永遠の秩序

IV. その他の関連事項

A. イスラエルを象徴するもの

1. 神の子
2. 神の宝
3. 祭司の国
4. 主のぶどう畑
5. 粘土と陶器師
6. 主の僕
7. 神の群
8. 神の所有の民
9. 主の妻
 - (a) 第一段階: 婚約
 - (b) 第二段階: 大いなる不貞

(c) 第三段階: 離別

(d) 第四段階: 離婚

(e) 第五段階: 裁き

(f) 第六段階: 回復された祝福をもって再婚

B. 反ユダヤ主義

1. 反ユダヤ主義への呪い
2. 反ユダヤ主義とアブラハム契約

C. イスラエルと組織神学

1. 聖書論: 聖書に関する教理
2. 神学そのもの: 神に関する教理
3. キリスト論: 御子に関する教理
4. 聖霊論: 聖霊に関する教理

5. 天使論: 天使に関する教理

6. サタン論: サタンに関する教理

7. 悪霊論: 墮天使に関する教理

8. 人間論: 人間に関する教理

9. 罪論: 罪に関する教理

10. 救済論: 救いに関する教理

11. 教会論: 教会に関する教理

12. 終末論: 終末に関する教理